

企画名：若狭の原発再稼働反対&核のゴミの中間貯蔵反対

団体名：避難計画を案ずる関西連絡会

## 1. 報告要旨

2018年度の取り組みは、①関西電力の使用済核燃料の「中間貯蔵施設」反対、②大飯原発の再稼働反対、③30km圏内自治体にも「事前了解の権限」を求める活動、④関電原発の火山灰問題等を中心として、これらの課題について、自治体への申入れ、集会等に取り組んできました。

①和歌山県白浜町（旧日置川町）では、2018年初めから、関電の「中間貯蔵施設」に反対する精力的な活動が取り組まれていたので、これに連帯し、4月に200団体の賛同を得て白浜町長へ申入れを行いました。カラーリーフを18,000部作成し[※1]、地元での戸別訪問・新聞折り込み等に活用してもらいました。また、京都府等にも申入れを行い「中間貯蔵施設は受け入れない」と、再度回答を得ました。

白浜町内で反対運動が強まる中、町長は9月議会の冒頭で、「受け入れない」旨を表明しました。これを受けて10月に、白浜町と高浜町からゲストを迎え、「核のゴミ捨て場『中間貯蔵』はいらない！関西集会」を開催し、今後、福井県の原発サイト内乾式貯蔵にも反対していくこと等を訴えるアピールを発しました。

②関電は大飯原発再稼働の条件として、2018年12月末までに、「中間貯蔵施設」の候補地を示すと福井県知事に約束していました。関電が約束を守れなかったため、福井県知事に対して、再稼働の了承を取り消すよう求める活動を即刻開始しました。全国から272団体の賛同を得て、福井と関西の共同の取り組みとして、1月に福井県に申入れを行いました[※2]。「中間貯蔵施設」、原発敷地内の乾式貯蔵施設は、原発の再稼働を続けるためのもので、約50年後に使用済燃料の搬出先はなく、地元を核のゴミ捨て場とするものです。

③原発再稼働に関する「事前了解の権限」については、滋賀県はこの権限を求めて関電等と話し合いを進め、京都府は「地域協議会の中で引き続き求めていく」と申入れ時に回答しています。今後は、これらを実現させていく必要があります。

④原子力規制委員会は2018年11月に、京都市越畑地点の火山灰（DNP：大山生竹火山灰）層厚を25cmとする「新知見」を確定しました。これによって、関電の原発敷地では、約20cmの火山灰層厚となります。現行の設置変更許可では10cmで運転を認めています。そのため、現行の許可は無効となり、原発を止めて再審査が必要だと私たちは主張してきました[※3]。規制委員会は、どのような規制対応を行うのかいまだ明らかにしていないため、今後も継続した課題となります。

◇ユージン・スミス生誕100年にあわせて、2018年12月には「水俣と原発 写真展とトーク」[※4 [チラシ](#)]を開き、6日間で300名以上の来場者がありました。初の試みでしたが、原発事故の問題等を広く知ってもらうことになりました。

## 2. 成果物

1. [申し入れ等回数](#)：京都の避難元6回／滋賀の避難元5回／避難先・関西広域連合5回／福井・岐阜6回
2. 参加団体含む共同制作リーフレット「[火山灰審査のやり直し急浮上 大飯原発4号の5月中旬原子炉起動は中止を！ 大飯3号、高浜3・4号の運転中止を！](#)」
3. [滋賀県申し入れ](#)（2018.4.12）  
「市民団体 原発停止を」『中日新聞』（2018.4.13）

4.	<a href="#">白浜町長に要望書提出</a> (2018.4.16) 「 <a href="#">中間貯蔵施設 拒否を</a> 」『毎日新聞和歌山版』(2018.4.17) 「白浜町長に要望書」『紀伊民報』(2018.4.18)
5.	カラーリーフ「 <a href="#">白浜に核の『中間貯蔵施設』はいらない</a> 」
6.	<a href="#">京都府申し入れ</a> (2018.4.23) 「 <a href="#">原発再稼働反対 西脇知事に要望</a> 」『毎日新聞京都版』(2018.4.24) 「 <a href="#">原発の安全協定 府に締結を要望</a> 」『京都新聞』(2018.4.24)
7.	抗議声明「 <a href="#">大飯原発 4号機の原子炉起動に断固抗議する!</a> 」(2018.5.9)
8.	原発を考えるびわ湖の会と共同で「 <a href="#">大津市原子力防災訓練(春季) 監視行動報告書</a> 」発行 (2018.6.25)
9.	「 <a href="#">見解：関電の越畑火山灰(DNP)の再調査結果に科学的根拠なし ～6月29日の意見交換会を踏まえて～</a> 」(2018.7.25)
10.	和歌山県「 <a href="#">格のゴミはいらん日置川の会</a> 」結成設立総会に講師派遣 (2018.7.29) 「 <a href="#">日置川地域 核燃料施設は不要</a> 」『紀伊民報』(2018.7.22)
11.	<a href="#">岐阜県と揖斐川町に申し入れ</a> (2018.8.10) 「 <a href="#">事前了解権の協定 県などに締結要望</a> 」『岐阜新聞』(2018.8.11) 「 <a href="#">原発の安全協定締結 県と揖斐川町に要望</a> 」『中日新聞』(2018.8.11)
12.	抗議声明「 <a href="#">関電の運転最優先のずさんな安全管理がもたらした高浜4号の原子炉容器上蓋配管からの放射能漏れ糾弾</a> 」(2018.8.22)
13.	菅野みずえさんお話し会 (2018.9.8) 「 <a href="#">福島を明石で語る 東日本大震災で三木に移住の女性</a> 」『神戸新聞』(2018.10.12) 「 <a href="#">仮設暮らし、移住、そしてがん… 福島原発事故で避難した女性の苦悩</a> 」『神戸新聞』 (2018.10.12)
14.	<a href="#">青森の市民団体ほかと共同でむつ市と事業者リサイクル燃料貯蔵株式会社に申し入れ</a> (2018.9.13) 「 <a href="#">中間貯蔵施設操業反対訴え</a> 」『デーリー東北』(2018.9.4) ほか報道4件
15.	<a href="#">滋賀県申し入れ</a> (2018.10.9) 「 <a href="#">ヨウ素剤配布を脱原発団体要望</a> 」『毎日新聞滋賀版』(2018.10.14)
16.	<a href="#">福井県高浜町申し入れ</a> (2018.10.12) 「 <a href="#">ヨウ素剤配布など反原発団体が要望</a> 」『福井新聞』(2018.10.13) 「 <a href="#">乾式貯蔵『拒否』を要望</a> 」『毎日新聞』(2018.10.13)
17.	<a href="#">福井県おおい町申し入れ</a> (2018.10.15) 「 <a href="#">30キロ圏内住民にヨウ素剤配布を</a> 」『朝日新聞福井版』(2018.10.16)
18.	核のゴミ捨て場「 <a href="#">中間貯蔵</a> 」はいらない！関西集会(2018.10.28) 「 <a href="#">核のゴミはいらない 中間貯蔵施設危うさ指摘</a> 」『毎日新聞』(2018.10.29) ほか
19.	規制庁による越畑火山灰露頭調査を視察(2018.10.29)
20.	「 <a href="#">越畑火山灰に関する5団体の見解</a> 」(2018.11.4)
21.	高浜町で戸別訪問チラシ配布「 <a href="#">高浜の豊かな海・山・川を子どもや孫たちに残すため町の皆さんで話し合ってください</a> 」(2018.11.11)
22.	<a href="#">越畑火山灰とむつ中間貯蔵の火山影響評価について規制庁交渉</a> (2018.11.18)
23.	おおい町で戸別訪問チラシ配布「 <a href="#">おおい町の豊かな海・山・川を子どもや孫たちに残すため町の皆さんで話し合ってください</a> 」(2018.11.11)
24.	「 <a href="#">原子力規制委員会での越畑火山灰問題の決定を踏まえた7団体の見解</a> 」

- |  |
|--|
| 25. 「 <a href="#">水俣と原発 写真展とトーク</a> 」(2018.12.9～14)<br>「 <a href="#">水俣と原発考える写真展 京都、ユージン・スミスさん生誕百年</a> 」『京都新聞』(2018.12.11) |
| 26. 7 団体抗議声明「 <a href="#">設置変更許可が無効の状態でも、原発を停止させない原子力規制委員会</a> 」(2018.12.12)   |
| 27. <a href="#">福井県申し入れ</a> (2019.1.25)<br>「 <a href="#">大飯 3、4 号の運転停止要望</a> 」『福井新聞』(2019.1.26)                            |
| 28. <a href="#">京都府申し入れ</a> (2019.1.31)<br>「 <a href="#">中間貯蔵反対を府に要望書提出</a> 」『京都新聞』(2019.2.1)                              |
| 29. <a href="#">申し入れに同席の大津留求議員が伊丹市議会で避難計画について質問</a> (2019.3.6)   |
| 30. 国相手の大飯原発裁判（大阪地裁）、老朽原発廃炉裁判（名古屋地裁）、大飯原発仮処分裁判（大阪地裁）の各裁判の傍聴支援等を継続  |